～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名　重症筋無力症に対するエフガルチギモドの最適投与間隔の検討　』
研究機関名　　東邦大学医療センター大橋病院
研究責任者　　脳神経内科　　職位・氏名　准教授　紺野晋吾

【試料・情報の利用目的】
目的: 本研究は、エフガルチギモドによる重症筋無力症（MG）治療の効果を評価し、最適な投与間隔を明らかにすることを目的としています。

治療の概要: エフガルチギモドは、 MG 治療ための新規分子標的薬です。本研究では、1 週間に 1 回の投与を基本とする治療サイクルを採用し、4 週間を 1 サイクルとしています。症状の改善または悪化に応じて、このサイクルを調整することが可能です。

取得試料: 治療を受けた患者さんの血清免疫グロブリンや MG の病原性自己抗体の値を取得します。これらの測定は、治療の効果を評価するために不可欠で日常診療で定期的に行われているものです。

データ抽出: 患者さんの診療録から、エフガルチギモド投与回数、間隔、それにともなう症状の変化、抗体レベル、および他の臨床パラメータを抽出します。これらのデータを分析することにより、エフガルチギモドの投与回数及び間隔と治療効果の関連性を評価します。

成果: この研究から得られる成果は、エフガルチギモドのより効果的な投与法の確立に貢献することが期待されます。これにより、MG の治療成果の向上が期待されます。

【他機関への提供】
該当せず。

【研究に用いられる試料・情報】
情報：病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】
2023 年 12 月 18 日より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】
該当せず

【試料・情報の取得方法】

対象者：2022年1月～2023年9月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経内科において、重症筋無力症の診断でエフガルチギモドによる治療をされた方、全6名。
方　法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究組織】
代表施設名：東邦大学医療センター大橋病院　研究代表者：紺野晋吾　役職：准教授

【利用する者の範囲】
東邦大学医療センター大橋病院　脳神経内科　紺野晋吾

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】
東邦大学医療センター大橋病院　脳神経内科　紺野晋吾

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年1月 31 日までに（過去に採取した既存試料を利用する場合）下記へご連絡下さい。代諾者もオプトアウトの請求が可能です。申し出のあった方の試料・情報は、利用を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院　脳神経内科
職位・氏名　准教授　紺野晋吾
電話 0334681251　内線　7551